

## スケジュールと遅延実行

- なぜスケジュール、遅延実行するか
  - 優先順位に応じたグルーピングを行って、 リソースをバランス良く共有する
- カーネル2.6のサポート
  - softirq
  - tasklet
  - workqueue(schedule task)
    - 従来のtask\_queueをカーネル2.5で実装し直した
  - カーネルスレッド

Linux Kernel Conference 2004



## 遅延実行: tasklet

- softirg(ソフトウェア割込み)の汎用的な実装
  - 割り込みコンテキストの遅延実行
  - ソフトウェア割り込み(softirg) で実行
  - 制限事項:
    - リソースを待てない
    - スリープできない
    - ■ユーザ空間にアクセスできない
    - スケジューラを起動できない
    - セマフォが使えない(SpinLockかatomic操作を使う)

Linux Kernel Conference 2004



## 遅延実行: workqueue

- 汎用workqueue
  - システム全体でキューとカーネルスレッドを共有
  - ユーザエントリの関数の実行が遅れる可能性
- 専用workqueue
  - 専用のカーネルスレッドが割り当てられる
  - 自由にスケジュール可能
  - 特定モジュールが固有のworkqueue を利用 ■ AIO, BlockIO, ...
  - ドライバ・モジュールがGPLである必要

Linux Kernel Conference 2004 Device Drivers L



## Atomic操作(3)

■ Atomic操作関数

atomic\_inc\_and\_test +1 して検査 atomic\_set セット atomic\_dec\_and\_test -1して検査 atomic\_read 読み出し atomic\_add\_and\_test 加算して検査 atomic\_add 加算 atomic\_sub\_and\_test 減算して検査 atomic\_sub 減算 atomic\_test\_and\_inc 用意され atomic\_inc インクリメントatomic\_test\_and\_dec ていない! atomic\_dec デクリメント test\_and\_set\_bit ビットを立てる test\_and\_clear\_bit ビットクリア

Linux Kernel Conference 2004